



病後児保育施設 にじっころーむ だより No.6

平成 31 年 2 月



リハビリ庭園の梅の蕾が膨らんでいるのに気が付き、ほっこりと春の訪れを感じる季節となりましたが、まだまだ寒さは続いています。今年は、暖冬と言われていますが、例年この時季は、一年中で一番寒く、非常に乾燥しています。肌がカサカサしたり喉が痛くなったりしますよね。さらに、加湿をせずに暖房器を使用すると乾燥が激しくなり、風邪やインフルエンザなどの感染症も増えてきます。栄養バランスのとれた食事や規則正しい生活を心がけ、寒い冬を元気に乗り切りましょう。



鳥取県東部で流行している感染症

鳥取県感染症発生動向調査情報（週報）

第4週（平成31年1月21日～1月27日）によりますと、現在県内で流行している感染症は、インフルエンザ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎・感染性胃腸炎などです。鳥取県感染症情報センターのホームページを利用して流行情報をチェックしてみましょう。

保護者の皆さまへ



流行シーズンには、徹底した予防対策が必要です。地域の流行情報をチェックしたり、人混みへの外出を控えましょう。また、お子さんの様子をよく観察し、日頃と違う症状があれば早めに小児科を受診しましょう。

感 染 症 に つ い て

病 名	感染経路	症 状
インフルエンザ	飛沫感染 ※1) 接触感染 ※2)	高熱・喉の痛み・頭痛・全身倦怠感
A 群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	飛沫感染	高熱（38℃～39℃）・イチゴ舌 手足に発疹ができる
感染性胃腸炎	飛沫感染 糞口感染 ※3)	発熱（高温になることはまれ）・腹痛・嘔吐 下痢・下痢に伴う脱水

（※1）飛沫感染とは？

感染している人がせきやくしゃみをした時、口から飛ぶ小さな水滴（飛沫）を近くにいる人が吸い込むことで感染します。

（※2）接触感染とは？

感染している人に触れたことで起こる直接接触感染（握手・だっこなど）と汚染された物を介して起こる間接触感染（ドアノブ・手すり・遊具など）があります。

（※3）糞口感染とは？

感染している子どものオムツ替えて、排泄物が大人の手についたままだと、健康な人にも感染するおそれがあります。

〔問い合わせ〕

鳥取市児童健康支援センター、病後児保育施設「にじっころーむ」
鳥取市的場一丁目1番地 鳥取市立病院内（TEL）0857-37-1577

“病状は落ち着いているが、集団生活はもう少し無理かも…”
という回復期に、にじっころーむを是非ご利用ください。